

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）北見林業土木協会

活動内容	国有林野ボランティア活動
1 実施年月日	： 令和 6年 9月13日(金)
2 実施場所	： 北海道北見市常呂町 網走中部森林管理署管内 海岸保安林及び網走国定公園「ワッカ原生花園」
3 参加会員数	： 会員企業13社及び事務局 14名 地元市役所支所職員、国有林OB、その他団体 27名 合計41名
4 活動内容	<p>北海道森林管理局網走中部森林管理署が管理する海岸国有林「常呂町ワッカ原生花園」において、同署の主催による環境整備（外来植物イタチハギ駆除）ボランティア活動が実施され、当協会の14名を含む総勢41名が参加しました。イタチハギは北アメリカ原産の落葉低木的一种で、過去に海岸砂丘地の砂防植林樹種として活用されましたが、現在では在来植物の生育を阻害したり景観を損なうなどの問題を引き起こしています。</p> <p>作業地は、サロマ湖ウルトラ100kmマラソンコースの一部にもなっている約800mの区間であり、この区間の両脇5m幅程度に自生するイタチハギを駆除しました。</p> <p>コロナ禍により5年ぶりとなったこのボランティア活動に会員は汗だくとなって作業を行いました。</p> <p>なお、この活動は地元業界新聞にも掲載されました。</p>
活動写真	
	
地元森林管理署長の挨拶	参加したボランティア
	
イタチハギ駆除作業	駆除したイタチハギを運搬

2024年(令和6年)9月18日(水曜日)

外来植物駆除に協力

北見林業土木協会 ワッカ原生花園で



大人の背丈ほどまで伸びた
イタチハギも刈った

【北見】北見林業土木協会(五十嵐龍会長)は13日、網走中部森林管理署が主催する北見市常呂

町のワッカ原生花園での環境整備活動に協力した。園内に繁茂する外来植物のイタチハギ駆除に汗を流した。コロナ禍もあり2019年度以来、5年ぶりの開催。同協会のほか、北見市常呂総合支所や日本森林林業振興会旭川支部、北見支所、森林管理局職員OBで組織する北林会も活動に加わり、計41人

で実施した。同協会からは会員企業の菊地組、西村組、渡辺組、大同産業開発、三共後藤建設、岸組、松谷建設、五十嵐建設、興和建設、村井小泉建設、水元建設、鐘ヶ江建設、津別建設と事務局から合わせて14人が参加した。

開始に先立ち、網走中部森林管理署の鈴木正祐署長は「イタチハギの駆除は継続的に取り組む必要がある。それぞれの体力に応じて、余裕を持って安全に作業して」と呼び掛けた。一行は約800区間で、園内防風林に生い茂ったイタチハギを枝切りはさみやのこぎりを使って刈り取った。